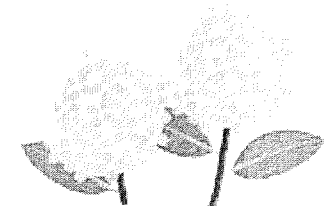


JOCS 祈りの花束

2019年6月

今月のことは、「神は愛」なのですから、あなたが神を愛する度合いに応じて、「神が愛」であることが分かります。(アウグスティヌス四世紀)

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
						1 ワーカーの御家族のため。特にその健康が守られるように
2 両宮春子さんのため(タンザニア)	3 すべてのムスリムの心身の健康が守られるように(本日、断食明け)	4 侵略や抑圧の状況下で苦悩することもたちのため(本日、侵略による罪のない幼児犠牲者の国際デー*1)	5 破壊された環境下で健康が脅かされている人々のため(本日、世界環境デー*2)	6 ワーカー派遣地の治安のため	7 神戸 JOCS のため(明日、委員会開催)	8 海の環境と資源が守られ、海洋環境に暮らす人々の健康が育まれるように(本日、世界海洋デー*3)
9 聖霊の息吹が JOCS に豊かに注がれるように(本日、ペンテコステ・聖霊降臨日)	10 JOCS の奨学生のため(特にタンザニアの奨学生のため。現在 11 名)	11 使用済み切手収集活動のため	12 労働を強いられている子どもたちのため、彼らの保護と健康のために働く人々のため(本日、児童労働反対世界デー*4)	13 シロアムプロジェクト(協働プロジェクト)のため(ケニア)	14 理事会のため(明日 定例理事会開催)	15 本日開催される第 58 回 定時社員総会のため
16 新しいワーカーが与えられるように	17 砂漠化や干ばつで健康が脅かされている人々のため(本日、砂漠化および干ばつと闘う世界デー*5)	18 ハンセン病に関する偏見や誤解がなくなるように(本日より「ハンセン病を正しく理解する週間」)	19 ケニア協働プロジェクトに派遣中の担当職員と松本政悦さんのため	20 各地の難民のため、また難民のために働く保健医療従事者のため(本日、世界難民の日*6)	21 「つながる募金」「古本募金」の普及のため	22 関西事務局オープンサタデーのため(本日開催)
23 過去の過ちから常に学び、苦悩する弱者に聴くことができるように(本日、沖縄慰霊の日)	24 SALT・地の塩プロジェクト(協働プロジェクト)のため(カンボジア)	25 岩本直美さんのため(バングラデシュ)	26 薬物乱用で苦悩する人々のため、また彼らのために働く保健医療従事者のため(本日、国際薬物乱用・不正取引防止デー*7)	27 事務局スタッフのため	28 JOCS の会員のため(特に、北海道の会員のため。現在 214 名)	29 会員の増強のため
30 ママ・ナ・ムトプロジェクト(協働プロジェクト)のため(タンザニア)	* 1 International Day of Innocent Children Victims of Aggression * 2 World Environment Day * 3 World Oceans Day * 4 World Day Against Child Labor * 5 World Day to Combat Desertification and Drought * 6 World Refugee Day * 7 International Day against Drug Abuse and Illicit Trafficking					



祈りの項目

・事務局より JOCS の働きのために時間を捧げくださっているボランティアさんのため

みことばの黙想 2019年 6月

これらの短いみことばは、フランスにある超教派男子修道共同体テゼの昼の祈りから取られたものです。

より深くみことばを味わいたい方は、出典箇所を参照して文脈のなかでみことばを黙想なさってください。

聖書本文は、原則として『聖書 新共同訳』日本聖書協会発行をもとにしています。

1日(土) 2コリント 5:18-21

パウロは記す。「神は、キリストを通してわたしたちを御自分と和解させ、また、和解のために奉仕する任務をわたしたちにお授けになりました。」

2日(日) ルカ 24:46-53

イエスが天に上げられた後、弟子たちは大喜びでエルサレムに帰り、絶えず神殿の境内にいて、神をほめたたえていた。

3日(月) ヘブライ 11:8-16

わたしたちの前を歩んだ信仰者たちは、自分たちが地上ではよそ者であり、仮住まいの者であることを知っていました。このようにして、自分が故郷を探し求めていることを明らかに表しました。そして、神は、彼らのために都を準備されていたのです。

4日(火) 1テサロニケ 3:6-13

パウロはテサロニケの信徒たちにこう書き送った。「わたしたちは、あらゆる困難と苦難に直面しながらも、あなたがたの信仰によって励まされました。」

5日(水) 箴言 8:12-31

主はその道の初めにわたしを造られた。いにしへの御業になお、先立って。御もとにあって、わたしは巧みな者となり、日々、主を楽しませる者となって、絶えず主の御前で樂を奏し、主の造られたこの地上の人々と共に樂を奏し、人の子らと共に楽しむ。

6日(木) エフェソ 5:8-14

何が主に喜ばれるかを吟味しなさい。実を結ばない暗闇の業(わざ)に加わらないで、むしろ、それを明るみに出しなさい。

7日(金) 詩編 119:81-88

わたしの魂は、あなたの救いを求めて絶え入りそうです。主よ、あなたの御言葉を待ち望みます。

8日(土) エフェソ 3:2-6

パウロは記す。「キリストの秘められた計画とは、全ての民が福音によってキリスト・イエスにおいて、約束されたものをわたしたちと一緒に受け継ぐ者、同じ体に属する者、同じ約束にあずかる者になるということです。」

9日(日) ヨハネ 14:19-23

十聖霊降臨日
イエスは言われた。「わたしを愛する人は、わたしの言葉を守る。わたしの父はその人を愛され、父とわたしとはその人のところに行き、一緒に住む。」

10日(月) 使徒言行録 2:1-21

五旬祭の日が来て、弟子たちが一つになって集まっていると、炎のような舌が分かれ分かれに現れ、一人一人の上にとどまった。すると、一同は聖霊に満たされ、霊が語らせるままに、ほかの国々の言葉で話した。

11日(火) ルカ 3:15-22

聖霊が鳩のように目に見える姿でイエスの上に降(くだ)って来た。すると、天から声が聞こえた。「あなたはわたしの愛する子、わたしの心に適う者。」

12日(水) ローマ 8:5-11

パウロは記す。「霊の思いは命と平和です。」

13日(木) ヨハネ 4:4-26

イエスは言われた。「神は霊である。だから神を礼拝する者は、霊と真理をもって礼拝しなければならない。」

14日(金) マタイ 6:1-6,16-18

イエスは言われた。「断食するとき、頭に油をつけ、顔を洗いなさい。あなたの断食が人に気づかれず、隠れたところにおられるあなたの父に見ていただくためである。」

15日(土) マタイ 19:16-22

イエスは金持ちの青年に言われた。「もし完全になりたいのなら、行って持ち物を売り払い、貧しい人々に施しなさい。そうすれば、天に富を積むことになる。それから、わたしに従いなさい。」

16日(日) ヨハネ 16:12-15

イエスは言われた。「真理の霊が来ると、あなたがたを導いて真理をことごとく悟らせる。その方は、自分から語るのではなく、聞いたことを語り告げるからである。」

17日(月) 詩編 4

正しさを認めてくださる主よ、呼び求めるわたしに答えてください。あなたはわたしを苦難から解き放ってくださいます。

18日(火) マタイ 5:1-12

イエスは言われた。「心の貧しい人々は幸い。天の国はその人たちのもの。悲しむ人々は幸い。その人たちは慰められる。」

19日(水) ヨハネ 1:1-18

言(ことば)は世にあった。世は言によって成ったが、世は言を認めなかった。しかし、言は、自分を受け入れた人、その名を信じる人々には神の子となる資格を与えた。

20日(木) 1コリント 12:12-30

パウロは記す。「あなたがたはキリストの体であり、また一人一人はその部分です。」

21日(金) ヘブライ 10:32-39

あなたがたは、光に照らされた後、苦しい大きな戦いによく耐えた初めのころのことを、思い出してください。自分もつとすばらしい、いつまでも残るものを持っていると知っているので、財産を奪われても、喜んで耐え忍んだのです。

22日(土) イザヤ 58:5-12

主は言われる。「葦のように頭を垂れる、それがわたしの喜ぶ断食であろうか。わたしの選ぶ断食とはこれではないか。悪による束縛を絶ち、虐げられている人を解放し、飢えた人にあなたのパンを裂き与えること。」

23日(日) ルカ 9:11-17

イエスは五つのパンと二匹の魚を取り、天を仰いで、それらのために賛美の祈りを唱え、裂いて弟子たちに渡しては群衆に配らせた。すべての人が食べて満腹した。

24日(月) 使徒言行録 13:22-26

十洗礼者聖ヨハネ誕生日

洗礼者ヨハネは、イエスがおいでになる前に、民全体に悔い改めの洗礼を宣べ伝えました。

25日(火) エフェソ 5:1-4,8-11

パウロは記す。「あなたがたは神に愛されている子供ですから、神に倣(なら)う者となりなさい。わたしたちを愛し、ご自分をわたしたちのために捧げてくださったキリストに従いなさい。」

26日(水) 黙示録 2:8-11

主は言われる。「わたしは、あなたの苦難や貧しさを知っている。だが、本当はあなたは豊かなのだ。あなたは、受けようとしている苦難を決して恐れてはいけない。死に至るまで忠実であれ。そうすれば、あなたに命の冠を授けよう。」

27日(木) ルカ 6:46-49

イエスは言われた。「わたしのもとに来て、わたしの言葉聞き、それを行なう人が皆、どんな人に似ているかを示そう。それは、地面を深く掘り下げ、岩の上に土台を置いて家を建てた人に似ている。」

28日(金) ヨハネ 13:1-15

イエスは、この世から父のもとへ移る御自分の時が来たことを悟り、世にいる弟子たちを愛して、この上なく愛し抜かれた。

29日(土) 2テモテ 3:14—4:2

十使徒聖ペテロ・使徒聖パウロ日

聖パウロはテモテに宛てて記す。「御言葉を宣べ伝えなさい。折りが良くても悪くても励みなさい。とがめ、戒め、励まし合いなさい。忍耐強く、十分に教えるのです。」

30日(日) ルカ 9:57-62

イエスに対して、「あなたがおいでになる所なら、どこへでも従って参ります」と言う人がいた。イエスは言われた。「狐には穴があり、空の鳥には巢がある。だが、人の子には枕する所もない。」